



中橋 友子 議員
(日本共産党
幕別町議員団)

問 人口減少対策について

答 あらゆる施策を総動員し、引き続き環境づくりに取り組んでいく

問

全国的に人口減少が続く、幕別町でも平成17年以降は出生数を死亡数が上回る自然減が続いている。背景に所得格差の拡大があり、出生率を上げるには所得増と特に女性が働きやすく、子育てしやすい環境の整備が必要である。

- (1) 町の人口、出生率の現状と推移。
- (2) 出生率目標達成のための政策と手立て。
- (3) 町内企業の育休や子育て支援の手立て。
- (4) 幕別本町、忠類地域の人口対策は。

町長

(1) 住民基本台帳における年度末人口は、昭和53年度に2万人、平成12年度に2万5千人を超えた。旧忠類村と合併した17年度には初めて2万7千人を突破。26年4月末の2万7714人をピークに、令和4年度の2万5778人まで9年連続で減少している。

合計特殊出生率は、国の人口動態統計特殊報告によると、昭和58

年から62年の1・89をピークに、直近の平成25年から29年は1・41で「幕別町人口ビジョン」で設定した推計値の1・55を下回る。

- (2) 不妊治療、不育症治療費の助成、妊産婦に寄り添ってサポートする伴走型相談支援体制を整え、札内青葉保育園建て替えによる入所定員数の拡大や家庭内保育事業所の参入支援など、保育の充実に努めてきた。

子ども医療費の無料化の対象を高校生まで拡大、第2子以降の保育料無料など、子育て支援の拡充に向けた取組をさらに進めていく。

- (3) 北海道が実施する「どさんこ・子育て特典制度」に町内の66事業所が協賛店として登録しており、特典カードの配布や情報発信に取り組んでいる。
- (4) 「マイホーム応援事業」で引き続き定住を促しているほか、幕別、忠類地域を担当する地域おこし協力隊員が、忠類地域の魅力発信、本町地域の空き店舗等の有効活用に取り組み、魅力的なまちづくり

問 循環型の経済に

答 新たな産業を創出し、経済循環を進めていく

問

すべての町民が「豊か」に暮らせることが人口減少に歯止めをかけることになる。地域産業、資源を生かした事業の推進のために(1)農業の6次産業化の現状と今後の取組。(2)家畜糞尿バイオガス事業の推進。(3)空き店舗対策や企業支援。(4)「まくPay」の利用状況と利用者の立場に立つた取り組みを。

町長

(1) 「幕別町6次産業化・地産地消等推進協議会」において、引き続き、農業の6次産業化や農畜産物の高付加価値化の取組を推進していく。

(2) 「ゼロカーボン幕別」に向け、有識者や町民等で組織する「幕別町地球温暖化対策推進委員会」において、バイオガスプラントの導

入・事業化に向けて新たな検討に入ったところ。

- (3) 空き店舗対策の見直しを含めて支援を検討している。「空き施設利用サポートセンター」で、施設改修等について相談支援していく。

(4) 加盟店は142件、発行総額は1億2172万4010円。利用額はガソリンスタンド44・9%、小売店20・9%、飲食店20・4%。加盟店地域別では、本町地区31・1%、札内地区60・1%、忠類地区8・8%となっている。

町内イベントでの利用の検討、行政ポイントの導入など利用促進に取り組んでいく。

問 環境問題について

答 先進事例等を参考に環境に配慮していく

問

地球温暖化対策計画は2030年までにCO₂の46%削減を目標にしている。新しくりんセンター改築計画に、ごみ減量と環境保護を組み入れるよう提案すべきである。

町長

(1) 現在最埋め立られている「プラスチック製品」の回収や処分方法について先進事例等を参考に協議を進めるなど、環境に配慮した運営となるよう意見を述べていく。